第178号　(発行　平成24年9月26日)

楽学（がくがく）ニュース

【編集・発行】
特定非営利活動法人
あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
【 事 務 所 】　早坂　津夜子 方
〒120-0001 足立区大谷田3-1-15-203
ホームページ　http://gakugaku.main.jp/

快挙！　内閣府より
平成24年度 エイジレス・ライフ“社会参加章”受章

　内閣府が実施する「平成２４年度エイジレス・ライフ実践者及び社会参加活動事例」の選考において、楽学の会が**「社会参加活動」**の模範事例として 選定され、**“社会参加章”**を受章しました。名誉ある受章です。これは、当会の活動が、賛助会員、後援会員、顧問の先生方のご指導も含め、高齢期世代における生き方の参考として広く全国に認められた結果です。

　９月１８日には、足立区地域文化課の鈴木伝一課長、小林弘之係長より**“社会参加章”**を章する書状と記念の楯が当会に手渡され、慶びを分かちました（写真参照)。また、日頃より事業の広報に奔走している会員による交渉で、「足立朝日」新聞社の取材を受けることになり、インタビューに応える会員の言葉には、何時にも増して力が籠もっているように感じました。

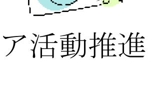
　内閣府では毎年「主体的に社会とかかわりを持ち、積極的な社会参加活動を通じ、生き生きと充実した生活を送っているグループ、団体（おおむね65歳以上の者で構成)」を全国に紹介しています。

（小林徹）

平成24年度第3ステージ　区民大学塾開催案内

講座名： 白州正子と次郎　その生涯 ～ 縁（ゆかり） の武相荘（ぶあいそう）を訪ねる～	**講　師：** **中島勝正　氏** **(現代日本文学研究者)**	
開催日時：11月10日(土)、17日(土)、24日(土)　14:00～16:00 **開催場所：**足立区生涯学習センター　５階　研修室１		
白洲正子は、能楽堂の舞台に上がったはじめての女性として知られている。その後、米国に留学。次郎は、英国に留学し、二人ともその中で、世界観と教養を深めた。 　次郎は戦後政財界で、正子は独自の美術観をはじめ文筆家として活躍した。この二人の生涯を取り上げ、後世に何を残し伝えたのかを探る。		

上記講座が開催されます。会員の皆さん、協力し成功させましょう。
大学塾講座運営スタッフへの参加をお待ちします。
申込先：事務局　電話・FAX　03-5813-3759（平日午後1時～5時）
E-Mail：（齋藤龍男）：t3436s@yahoo.co.jp



（ボランティア活動推進部）

平成２４年度あだち区民大学塾　　第２ステージ開催報告

特別講演会 琵琶日本一受賞奏者 櫻井亜木子『平家物語』を語る

特別講演会は９月８日土曜日１７２名の受講者を迎えて無事終了した。当日、午前中に櫻井講師他出演者と我々スタッフ、センターの担当者が会場に集まり、照明と音響など周到な準備の後、リハーサルを行って２時の開演を待った。

沢山の受講者を迎えて混乱を予想し、１５分ばかり開場時間を早めたが、蒸し暑い中受付を待つ長蛇の列が縮まることはなかった。開演を若干遅らせることでようやく受付けが終了した。

会場はほぼ満席、センター所長の挨拶に始まり、琵琶の櫻井亜木子氏、琴の大平光美氏、鼓の梅屋喜三郎氏が登場すると客席は水を打ったような静けさ、和服姿が美しい櫻井氏の軽快なトークで講演が始まった。

平家物語のうち「敦盛」、「那須与一」と進み３番目には琵琶と鼓の競演により「壇の浦」が演じられた。琵琶は大学塾で３回目なので知る人も少なくないが、鼓の演奏をライブで見聞きするのは珍しいようで、楽器の説明を聞き、琵琶との競演には受講者も魅了されて満足気の様子だった。予定の４時を１５分ばかり過ぎて講演と演奏が終わり、会場には静かな感動が漂っていた。（鹿島健一）

「やさしい薬膳」

8/7(火)、14(火)、梅田地域学習センターにおいて実施された。講師は「薬膳を楽しむ会」代表の田中桂子氏。第１回目は薬膳の話を中心に自分の体調を知った上で食材が持つ性質を組み合わせ、薬効性を生かした調理法により毎日適量ずつ摂取することが大事であることを学んだ。

受講者は１回目は１４名で、２回目は料理実習で、男性１名の受講者があり、１５名とスタッフ６名が５班に分かれて調理に挑戦した。各班の男性達は熱心で手さばきもよく、その姿はほほ笑ましく感じられた。出来上がりは彩りも良く美味しいとの評価であった。

この講座に男性が参加されたことは健康を留意し、日常の食生活に対する関心が高いあらわれと思います。次回は健康寿命を延ばす食生活を考えたいと思いました。（岡田スミ子）

「地球の仲間の星と宇宙のはなし」　～宇宙のことを調べてみよう～

子供たち向けの夏休み科学講座を 8 月 4 日(土)午後 1 時 30 分～３時 30 分に東和地域学習センターの研修室で実施しました。今回は宇宙に興味のある、小学校 4 年～6 年生を対象に　地球の誕生と太陽系の惑星の話、みんなの周りの宇宙の技術：ロケット、人工衛星、宇宙船、宇宙旅行の話をわかりやすく理解してもらうことを目的に開催。講師は小林徹氏元（財）無人宇宙実験システム研究開発機構研究員が映像を交えて解説し、子供たちは映像を見ながら興味深く聞いてい

ました。特に今回は５月 21 日の金環日食、土星が月に隠れる土星食の映像を紹介し、宇宙の不可思議を体感しました。

参加者は４年生４名、５年生１名、６年生３名、付き添い保護者２名の計 10 名でした。

参加の小学生は宇宙、理科への興味ある子供が多く、アンケートでは「とても楽しかった」「わかりやすかった」「宇宙のことがよくわかりました」「宇宙のことがいっぱい知れてうれしかった」との意見ありこれからの日本の科学技術の発展に貢献してくれることを期待したいと思いました。最後にハヤブサと月球儀の工作材料をお土産として提供し、子供たちは喜んで帰りました。

東和地域学習センターとの共催講座も３回目となり今後も地域学習センターと連携した講座を展開していきたい。

（福田哲郎）

生涯学習センター講座　運営ボランティア参加報告

NHK 主催関連文化講演会「大英博物館　古代エジプト展」

8/19（日）午後2時より、センター4階講堂にて開催され、185名が受講。ボランティアとして9名が参加した。古代エジプト博物館自由学校の村治笙子氏が講師で「死者の書」を読み解く来世の旅について講演があった。

古代エジプト人の来世観は、太陽神ラーを崇拝し日が沈むと太陽の船に乗せてもらい昼と夜の世界をめぐり、毎日復活し永遠に生きる考えであった。死後の世界にはオシリス神の世界がありミイラにしてもらい来世で復活・再生したいと望んだ。死者は様々なものに姿を変えながら冥界での旅を続けるが困難を克服し再生・復活を果たすための呪文が「死者の書」で約200の呪文が記されている。初めはピラミッド内部に、以降、木棺、墓壁画やパピルスの巻物、副葬品に描かれていた。

「大英博物館古代エジプト展」は9/17まで六本木の森アーツセンターギャラリーで開催。世界最長の37ｍの「死者の書」が展示された。講師がパピルスを持参し、「ヒエログリフ」の解説があり、映像を交えて説明された。満席の受講者ははるか古代エジプトを想い、楽しい講演であった。

（福田哲郎）

2012年 8/10 あだち広報

NPO法人　あだち学習支援ボランティア　楽学の会

地域で学ぶ人を支援するボランティアグループとして、区民向けの講座や講演会を企画し、会員同士やほかの団体とのつながり作りに取り組んでいます。

「あだち広報」に当会が紹介された

「講座を企画・運営することで人と人とのつながりを紡いでる団体があります。その活動内容や活動から生まれた絆を紹介します」としてあだち広報2012年8月10日号に掲載されました。

地域のちから　　あだちに活力を！～縁の下の力持ち～

瀬沼顧問より贈書

当会顧問で、桜美林大学名誉教授　瀬沼克彰氏より下記の寄贈があった。

○生涯学習「地縁」コミュニティの創造

～学びを通じた人の絆が新しい地域・社会をつくる～

著者：瀬沼克彰氏　（株）日本地域社会研究所発行

○「いきいき人生」

～エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例集～

発行者：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

２冊はワークルームの書棚に保管しておりますので御活用下さい。

（事務局）

学びのエリア再発見～「駅シリーズ」 第八回・・・竹ノ塚地域（その1　西口エリア①）

昭和４１年の竹ノ塚駅西口

1.竹ノ塚駅　住所:竹の塚6-6-1.電話:3899-1424

開設：1900(明治33)年3月21日（開業当初は伊興方面への西口改札口のみ）

現在の駅舎開設:1972(昭和47)年7月21日（東口、西口共通に改良）。一日の乗降客：約72,000人。駅は竹の塚６丁目にあるが、駅名は竹ノ塚である。

現在の竹ノ塚駅西口

町名の“の”と駅名の“ノ”の違いを色々と調べた結果、明治時代の送り仮名はカタカナであり、開設が明治 33 年であるから、“ノ”を使って「竹ノ塚」駅としたという説が妥当なようだ。

2.　(有)プリントアート（足立ブランド認定企業　偏光板アート製品販売）住所:西竹ノ塚 2-15-21

製造業の多い足立ブランドの中では異色の存在です。訪問前にインターネットで同社について予習をしました。しかし、『「偏光板アート」一体何だろう？「万華鏡は脳を活性化します。ヒーリング（癒し）です」当たり前のことじゃない？』など疑問を持ったまま訪問することになりました。

島崎勝信社長との対談

これも万華鏡

でも実物を見て仰天！まず両目で見る万華鏡なんて初めて。次いでその大きさにビックリ。大きな万華鏡は、両目で見られるし、視点が遠いので目が疲れない、老齢者や身体が不自由な方でも見やすいなど、温かい発想で出来ているのです。事務所には、万華鏡のほかに偏光板による広告看板や説明版、飛び出す字と絵（メガネ使用）紙・ダンボール・レザーによる立体クラフトなどおもちゃ箱に入ったような楽しさがいっぱいです。

大きな万華鏡

偏光板による広告看板

社長は、アイデアを形にするまでの粘り強さと、人を楽しませる能力は勿論、ご自身も楽しむ余裕があるのでしょう。プリントアート社の万華鏡には誰もが無条件でニコニコする楽しさがあります。この楽しさと癒しをもっと大勢の方に体験してもらいたいと感じました。

3.東岳寺　伊興本町 1－5－16

東京都指定旧跡

竹ノ塚駅西口より徒歩 10 分　東伊興４丁目付近の寺町から少しはなれたところに位置している。取材当日は、ご住職の２６代目・２６世・乙部健修氏がお忙しい中出迎えてくださった。ここには、「東海道五十三次」の作者として有名な浮世絵の初代『安藤広重=歌川広重』の墓石と記念碑がある。（いずれも東京都重要文化財＝旧跡：指定は昭和 15 年 6 月 6 日）南昌山東岳寺縁起によると、曹洞宗系単立寺院として、寛永年間浅草新寺町に所在したとある。

ご住職乙部健修氏と対談

東岳寺

その後浅草の区画整理に伴い、昭和 36 年 1 月現在地に移転した。記念碑の脇には、「広重塚」があり大正 14 年に没した４代広重（菊池貴一郎）昭和 42 年に没した 5 代広重（菊池寅三）も埋骨されている。

安藤広重の墓

「広重」関連として「ハッパー墓碑」がある。米国人ハッパーは世界に日本文化を紹介したが、特に広重の芸術に憧れ、「広重ハッパー」と称し世界に広めた。また、俳風柳多留 50 篇を出版した「花屋久次郎」遺石碑がある。これらの墓石・石碑・塚など伊興の地に移転する苦労もご住職の話から伺う事ができた。温かい応対に感謝をしながら、寺院を辞した。

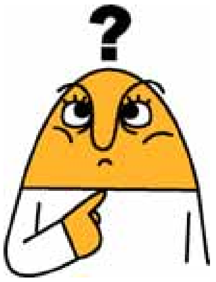
（安藤、神戸、今野、田中(桂)、佐久間）

みんなの 広　場

みんなの広場は、会員の憩いの場です。毎号スペースを設けます。
自由気軽に、趣味、生活の知恵、心に残った言葉などを寄稿してください。
　☆送付先は下記の相馬までお送りください。(300字～500字以内)
FAX.03－3889－8202　E-mail: yoshi.soma@viola.ocn.ne.jp

中学２年生との職業についてのはなし

　中学２年生を対象に、足立区立第九中学校から、経験をもとに職業について講話をしてほしいと依頼を受けた（6 月 16 日に実施）。学校では「職業分科会」という授業を課外で実施している。当日は６名の色々な職業の経験者が参加し、各々教室を担当。私は宇宙開発を行う職業の教室を受け持ち、３０名ほどの生徒が集まった。
　授業は第１部（50 分）で、職業について、①仕事の内容、②仕事に就いたきっかけ、③仕事に就くため（するため）に必要な資格、進路、④仕事のやりがいや苦労する点等を中心に講話、第２部（40 分）で、意見交換会を実施、約２時間の授業であった。

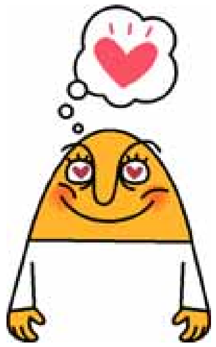


　中学２年生が将来自分の職業についてどのくらい関心を持っているのかを知ることは興味のあることであった。また、科学に関心を抱いてもらえるよう話したつもりである。生徒たちの反応が良かったことに安堵した。「仕事は、人と人との繋がりで行われる」「習うより慣れろ」等を強調した。第２部ではほとんど全員が挙手し質問。将来が楽しみな生徒たちであった。
　後日、生徒たちのお礼の手紙と分科会の様子を報告した新聞を受け取り、感謝である。

（小林徹）

★映画「人生、ここにあり！」上映会にご協力ください！

　心の病を特別なものと考えていませんか？
　人間関係につまずいた、親子関係でこじれてしまった、孤独におちいった、いじめや自殺…。そんな中で病気になったとしても、この映画にある協同組合のような場で、仲間と出会い、生きる喜び働く喜びを味わっていく中で、生きる希望がわいてきて心の病は癒されていく…。



　イタリアの精神医療の取り組みは、社会的偏見も庶民の連帯で乗り越えることができると証明しています。制度など社会のしくみは日本と違っているかもしれませんが、家族を大事にするお国柄は似ていて、とても共感できます。心の病は、人と人との関係の中でよくなっていくものなのです。
　イタリアで始まった本当の“しあわせ革命”
　あなたの心にも希望の灯をともしてくれるでしょう。是非、見に来てください。
　　　※（各回に和音(わいん)さんのミニコンサートもあります)

■開 催日：２０１２年１０月１４日（日）
　　　　　上映時間：第1回１０：００～、第2回１４：００～、第3回１７：３０～
○上映会場：足立竹ノ塚地域学習センター４階ホール
○入 場 料：前売り１，０００円、当日１，３００円
○連 絡 先：ＮＰＯ法人ワーカーズ　コープ　東部第２事業所　担当：池内
　　　　　　　TEL　０３－３８５０－２８２７（月～金　１０：００～１６：００）

（高見沢公彦）

平成２４年７月　月例会　　**暑気払い**

毎日うだる様な日々が続いている中、24 年度暑気払いが、7 月 26 日（木）午後 6：00 より学びピア 7 階レストラン　さくらで開催された。

来賓として足立区地域文化課　小林係長、生涯学習センターから平野所長、菅原氏のご出席をいただきました。

早坂代表の挨拶で始まり、小林係長より楽学の会に今後を期待するとの挨拶を頂き、平野所長には挨拶そして乾杯をもお願いしての開会であった。

しばしの歓談後、恒例のカラオケタイムに進行・・・みなさん自分の持ち歌が豊富にあるので、前回までの様に唄出しのお願いが無くても良く、今回の進行係は楽しく出来ました。

今回は 23 名の参加者であった。

（鈴木良夫）

アサヒビール茨城工場見学会

会員交流会として真夏の太陽が照りつける８月９日（木）の午後、筑波エクスプレス守谷駅よりシャトルバスで緑豊かな環境の中に建つビール工場の見学を行った。１２名の参加者で先ずロビーにて写真におさまった。

その後、ビールが製造されるまでをスクリーンに写して説明があって工場内を見て回り、最後に天望台ホール（１７階）で最も楽しみにしている作りたてのスーパードライの試飲があった。

喉の乾きもあり、皆さん喉を鳴らして飲んだ。指定の２０分間は“あっ“という間に過ぎてしまい、飲み足りなさを感じたと思いますが、楽しい想い出になりました。

（岡田スミ子）

運営委員会だより

平成24年8、9月度 運営委員会は 8月2日及び9月3日に開催した。議事録を基に報告する。

【8月2日(月)　議　事】

1．早坂代表理事の報告及び提案

1)暑気払い　新体制の下、活動に関わる方々とのコミュニケーションが図れた。

2)「足立区報」8月10日号に当会の活動紹介記事が掲載される。

3)内閣府「エイジレス・ライフ実践者および社会参加活動事例選考委員会」での「社会参加章」の受章内定の通知が、東京都より足立区地域文化課にあった。

2．情報交換

1)「あだちNPOフェスティバル2012」
9/ 8(土),13(木)　(説明会)
9/30(日)　11時～、於区庁舎　担当ボラ活部

2) 春日部市 春日部まちづくり応援団との交流会を9/24午後開催の予定（研１)。

3) 生涯学習情報ネットワークイン多摩への参加登録実施　連絡窓口：喜多村、佐久間
・10/20　八王子生涯学習センターでフェスティバルの予定。

3．１０周年記念事業

・興梠、平沢両顧問了解済。
・パネリストの佐藤教授の都合がつかず、目白大学　鈴木章生教授にお願いする。

4．受託事業

◆生涯学習ボラ養成セミナー請求書・報告書等の完了手続きを至急おこなうこと。

◆10/5,9,17実施「子どもの心と身の信号を見分ける子育て」の企画書・見積書をセンターに提出、請書(契約書)済。
・各講師宛に依頼状を送付すること。

◆プロジェクトチーム(小林、早坂、安田、鹿島、江川)で、2月実施を目途に新企画を検討する。
・各構成員の役割の明確化再確認した。

5.「あだち区民大学塾」のセンターへの提出書類、区報掲載原稿、他提出書類の周知・徹底図る。

6．地域協働講座

・東和地域学習センターで8/4開催の「宇宙」は、小島講師が急遽欠席となり小林講師一人で実施する。

7．その他

1)生涯学習ボラ養成セミナー7/18終了
・新入会者：阿部氏
新賛助会員：高柳氏　中山(豊)氏

2)足立区・指定管理者・楽学の会、3社の協定書に調印済。

3)24年度名簿訂正後会員へ9月末に郵送する。

4)「楽学の会」組織図(案)配布

【9月3日(月)　議　事】

1．早坂代表理事の報告及び提案

猛暑の最中、8月の各講座開催、大学塾事務局への協力、ＨＰに関する情報変更掲載に関し関係諸氏の資料作成を行って頂いた。こうした目に見える形での実践が会の新たな活性化に繋がっていくと思います。

2．情報交換

1)瀬沼顧問より図書2冊を頂いたので、ワークルームに保管する。
・生涯学習「知縁」コミュニティの創造　瀬沼克彰著
・「いきいき　人生」　内閣府政策統括官

2)あだち協働パートナーサイトを有効に活用することを検討する。取扱部署は事務局

3)春日部まちづくり応援団との交流会を行う。
9/24(月)　14時～

4)あだちＮＰＯフェスティバル2012に参加する。
9/30(日)　11時～15時　於区庁舎

5)あだちサークルフェア2012　ボランティア活動紹介コーナーに参加する。
10/13(土),14(日)　10時～
於生涯学習センター、研３

3．１０周年記念事業全体会議
9/12(水)　14時～　研１

4．受託事業　「エネルギーについて考える」の提案
実施予定２月、講師、開催日を9月中に決定する。

5．シュレッダー

・取扱説明書(書棚)を見て利用する。
・講座終了後、コーディネーター・リーダーはハガキ・名簿等の処分をする事。

6．地域協働講座

・新田学習センターで「宮澤賢治」（赤田秀子講師)、1/12,19,26に開催。

7．その他

1)NPO活動支援センターの書類等は、ファイルし書棚に整理するので各人が確認

2)会のパソコンにある「大学塾のホルダー」を学習支援部が整理したので、各講座担当者は必要書類をここに保存する。

（事務局)

生涯学習センター　ボランティア情報

講座運営ボランティアを募集しています。積極的な参加をお待ちします。(ボランティア活動推進部)

ＮＨＫ主催「中国王朝の至宝」関連文化講演会

◎日　時：11／3（土）　午後２時～３時３０分
◎会　場：生涯学習センター　４階　講堂
◎講演者：松本伸之氏
（東京国立博物館学芸企画部長）
◎対象・定員：１６歳以上・１９０名
◎募集人員：７名程度
（会場・講演者接待・受付・司会・記録等）
◎集合時間：午後１時（講堂）
開場午後１時３０分
運営ボランティア申込先：齋藤（ボラ活部）
メール　t3436s@yahoo.co.jp
ＦＡＸ　03-5813-3759（事務局）

生涯学習センター講座情報

平安時代の歴史と文化～権謀渦巻く 400 年

・開催日： 11/11～12/2 毎(日)全４回２時～４時
・場　所：生涯学習センター５階研修室３
・受講料：2000円(一般)、1400円(70歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方)
・内　容：貴族が没落し、武家が台頭する歴史と文化を辿ります。
第１回：桓武天皇の子供たち
第２回：延喜天暦の代
第３回：藤原道長の時代
第４回：院政と源平の争い
・講　師：山岡　昭氏（歴史研究家）

申し込みは、生涯学習センターへ
電話（03－5813－3730）又は直接窓口

１０月　月例会のご案内

日　時：１０月３０日（火）　午後６時～８時
場　所：生涯学習センター　５階　研修室４
テーマ：①「区民大学塾第２ステージ講座の振返り」
（「あいうえお論語」「やさしい薬膳」「宇宙の謎」「特別講演会・琵琶」）を振返る。
②10周年記念事業の進捗状況報告

会員の積極的な参加をお待ちしています。
（ボランティア活動推進部）

訃報　中山豊治氏逝去

平成 17 年度に入会され、ボランティア活動推進部に所属し、種々の行事にも積極的にご活躍頂いて居りました中山豊治氏が、去る８月 31 日、行年 87 歳にてご逝去されました。

心より、ご冥福をお祈り申しあげます。

なおご葬儀は家族葬にて執り行われましたことを、謹んでご報告申し上げます。　（事務局）

楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

○運営委員会
10月 1日(月)　午後3時～5時　研修室3
○月例会
10月30日(火)　午後6時～8時　研修室4
○学習支援部
10月10日(水)　午後2時～4時　ワークルーム
○ボランティア活動推進部
10月10日(水)　午後2時～4時　ワークルーム
○広報部
10月5 日(金)　午後2時～4時　ワークルーム
10月24日(水)　午後2時～4時　ワークルーム
10月30日(火)　午後2時～4時　ワークルーム
○事務局
10月 9日(火)午後2時半～4時半　ワークルーム
10月31日(水)午後2時半～4時半　ワークルーム
（ニュース発送）
○大学塾講座検討会議
10月12日(金)　午後3時～5時　ワークルーム
○大学塾講座企画会議
10月 1日(月)　午後1時半～3時　研修室3
○ホームページ企画会議
10月は月末の更新作業とします。

★お問い合わせ＆ご意見等

○「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局　江川武男　電話 :03-3898-1542
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp
○「ホームページ」に関するお問合せ
広報部　田中国弘　電話：03-3856-9290
E-Mail：ku-tanaka@asahi.email.ne.jp

メルマガ・ホームページからのお知らせ

・新しいHPアドレスhttp://gakugaku.main.jp/への切り替えは順調に進みました。皆さまのご協力を感謝いたします。
・ＨＰのアップは10月1日に行います。ご期待ください。
・メルマガは10月1日の配信予定です。

編集後記

連日３０度を超える暑さがつづき、さらに今年はオリンピックが開催され、暑さと熱気の入り混じった夏も、そろそろ終わりに近づいています。

楽学ニュースは８月が休刊のため、記事満載といったところです。毎号こうありたいものですね。これからは過ごしやすい季節に向かいますが、夏の疲れが出ぬよう体調には気をつけて、活動しましょう。　（尾島美津江）